

大山川の浚渫、少しずつ進んでいます

余水吐けの切り下げで増水の解決をはかります



2021年10月31日撮影



2022年8月3日撮影

大山川の浚渫は少しずつ進んでいます。今年度の予算では全体の浚渫を完了することは難しい見通しですが、予算を確保しながら、下流側から順次進めていく予定となっています。菩提寺新町地域の増水解決には余水吐けの切り下げが必要だと考えます。滋賀県とも交渉し頑張ります。

雨山キャンプ場は宿泊利用できません

8月15日に川波議員が文化スポーツ課に問い合わせたところ、雨山キャンプ場は現在宿泊利用は受け付けておらず、デイキャンプでの利用のみ受け付けているとのことでした

甲賀市には水口スポーツの森にキャンプ場があります。こちらの施設は雨山キャンプ場と比較しても魅力的です(参考)。利用料金で比較した場合、数人程度の利用人数であれば雨山キャンプ場が割高に見えます。また、雨山キャンプ場は4人以上のグループでの申し込みを前提としている点(実際は4人以下でも対応している)、水口スポーツの森は遠方からの利用を想定してか電話で予約を受け付けている点など、雨山キャンプ場との違いが目立ちます。さらには雨山キャンプ場は数年前から宿泊利用を受け付けていない状態です。理由としては、夜間開放しておくとならば不法投棄などの問題がある、キャンプ施設としての魅力的でなく利用者が少ないとの考えの様です。実際に利用数も低く、数件程度にとどまっています。

利用者の減は運営の問題

利用者の減は運営の問題、公共施設の統廃合を進めようとする動きのある中、雨山キャンプ場の現状は問題ではないでしょうか。現状の利用者の少なさは、運用上の問題ではないでしょうか。数年前からキャンプの人気の高まっています。もともとはキャンプ場ではなかった愛知県の公園(桃太郎公園)でも「キャンプができる」とインターネットで口コミが広がって、全国から多くの人を訪れるようになった」と語った管理人がいる程です。岐阜県の公園(神洞ほたるの里公園)では、トイレ、かまど、東屋しかない様な施設でもキャンプで利用する人が多く、入りきれない人は公

園のすぐ近くにあるトイレさえない河川敷でキャンプをする程の人気です。水口スポーツの森キャンプ場でも、シーズンになれば人気の場所は予約で埋まるほどです。

キャンプ場と言っても、そのスタイルは様々

キャンプと一口に言っても、そのスタイルは様々です。家族や大人数のグループで楽しむものから、「ソロキャンプ」と呼ばれる一人で静かに楽しむスタイルもあります。車で利用する人もいれば、バイクで乗り付けて利用する人もいます。

キャンプ場の様式や価格も様々で、電源コンセントが用意されているなど、設備や遊具などが充実し、ビジネスホテルに宿泊できるほどの費用のかかるキャンプ場がある一方で、トイレ、水道などの必要最低限度の設備しか整っていないキャンプ場や水口スポーツの森の様に非常に安価なキャンプ場まで様々です。

価格、申込方法、利用条件などの工夫で利用者の増加を

雨山キャンプ場においては、キャンプ場まで車が乗り入れられないなどの不便な点はあるものの、致命的な欠点とは言えません。例えば、愛知県の滝頭公園のキャンプ場においても車が入り入れできないという不便さは同じですが、こちらはシーズンの休日になれば予約が取れない日もあるほどです。

雨山キャンプ場は施設に大幅に手を加えずとも、価格、申し込み方法、利用条件、宣伝方法などを工夫することで、利用者の増加が見込めるのではないのでしょうか。

湖南民報

2022年8月19日(金)

No. 497号

日本共産党湖南市議員団



福祉教育
常任委員会
松井けい子
0748-77-2049



産業経済
常任委員会
川波 忠臣

湖南民報は「赤旗」に折りこんでいます。

090-9691-1027

050-3554-3822

	雨山キャンプ場	水口スポーツの森
使用料金	1700円(テント一張りあたり)	100円(一人1日あたり)
申し込み方法	事務所へ許可証提出	電話
利用条件	4人以上のグループ	特になし

雨山キャンプ場(湖南市)と、水口スポーツの森キャンプ場(甲賀市)の比較(情報は各施設のWEBページから)